

道路空間整備で協定

大成ロテック 伊那市 低コストに高度化

大成ロテックと長野県伊那市は、道路空間整備システム構築プロジェクトに関する包括的な連携協定を締結した。写真。主に自動運転システムの課題解決について協力を進める。

現在の自動運転システムは、歩行者と自転車などが混在する道路空間に実装する場合、安全面など多くの課題がある。大成ロテックは、地方都市向けに既存の道路を低コストで高度化・保守できる技術を研究してきた。伊那市は、自動運転の実証実験などに取り組み、課題について検討を進めていた。

今後、大成ロテックは、自動運転車両と自転車などのパ



ーソナルモビリティが共存する道路空間の利用・整備について、課題を調査・把握する。さらに既存道路をより有効に使う技術や、道路空間整備におけるデジタル技術などの先端技術の研究を伊那市と共に進める。技術の実装化によって、課題解決が可能か検証するプロジェクト実施も予定する。